

県央・湘南の 環境と共生する 都市づくり NEWS

新幹線新駅の実現を目指す、
環境共生の都市づくり通信



No.38

2014.8



(写真は品川駅にて停車中の新幹線)

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、
寒川町倉見地区に東海道新幹線新駅を誘致する活動に取り組んでいます！



新駅ができるとどうなるの？

- **交通利便性が向上します。**
全国の主要都市への移動時間が大幅に短縮されます。
- **産業活動が活性化します。**
新幹線によって都市と結ばれ、ビジネスの機会が大きく拡大します。
- **都市と地域が活性化します。**
交通利便性が高まり、地域の特性に合った産業や商業施設が集まります。
- **知名度が上がります。**
新幹線の駅のある都市として知名度が上がり、訪れる人が増えます。



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

神奈川県・相模原市・平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・厚木市・伊勢原市・海老名市・座間市・綾瀬市・寒川町・県市長会・県町村会・県商工会議所連合会・県商工会連合会

「ツインシティ大神地区まちづくりシンポジウム」を開催しました

ツインシティの一翼を担う平塚市大神地区の土地区画整理事業は、事業実施に向けて大きく動き出そうとしています。

そこで、地元の理解をさらに深め、事業を着実に進めるため、5月24日、平塚市大神公民館で、県と平塚市が共催でシンポジウムを開催しました。会場には約100名の方々が参加し、齊藤進産業能率大学教授の「まちづくりと環境共生」をテーマとした講演の後、吉川神奈川県副知事、落合平塚市長、福澤平塚商工会議所会頭が「ツインシティが描く未来」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

ここでは、「ツインシティの魅力あるまちづくりを支援して、新幹線新駅の実現につなげていきたい。」「交通アクセスを活かして、新たな産業の拠点を目指していきたい。」「平塚市の北の核として、市を代表する顔となるまちづくりを進めていきたい。」といった、ツインシティへの期待や必要性などについて意見が交わされました。



ツインシティとは？

ツインシティは、東海道新幹線新駅誘致に取り組んでいる「寒川町倉見地区」と、相模川を挟んだ対岸の「平塚市大神地区」からなる新たな双子のまちのことで、

両地区を新たに「(仮称)ツインシティ橋」でつなぐことにより、一体的なまちづくりを目指しています。



(シンポジウムの様子)



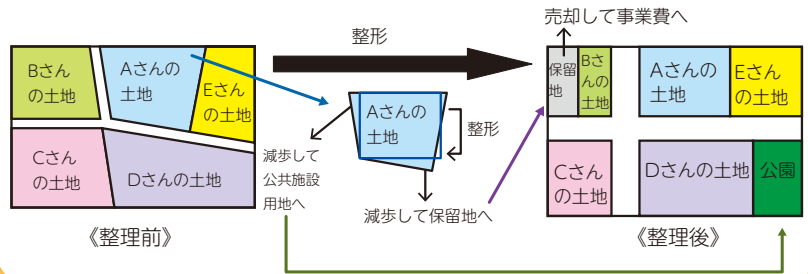
土地区画整理事業とは？

宅地などの区画を整形して新しく公共施設を造る事業です。

土地の権利者から少しずつ土地を提供（^{げんぶ}減歩といいます）してもらい、その土地をもとに宅地や公共施設の整備を行ったり、売却して事業費にあてたりします。

整形した土地は面積が小さくなるものの、利用価値・資産価値が上がります。

●土地区画整理事業の例



環境共生都市づくりの指定・認証制度を紹介します

神奈川県では、県央・湘南都市圏で環境と共生する都市づくりを推進しています。

その1つとして、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」に基づき、環境と共生する都市づくりの推進に寄与する取組に対して、県が指定・認証を行っています。

認証を受けた方には、県から認証マークを交付します。認証マークは、広報用パンフレットの作成やホームページへの掲載など、事業の内容をPRする際にご活用いただけます。

●環境共生都市づくり計画 (H26.4月開始)



市町村や企業が策定する事業の実施計画等のうち、基準に適合するものを「環境共生都市づくり計画」として指定する制度です。

【対象】

市町村が策定するまちづくり計画や民間企業の事業実施計画 など

●環境共生都市づくり事業



民間企業や行政が実施する施設整備事業のうち、基準に適合するものを「環境共生都市づくり事業」として認証する制度です。

【対象】

太陽光発電設備の導入等、環境に配慮した取組を実施する施設の整備事業 など

●環境共生まちづくり運営組織 (H26.4月開始)



環境共生の取組を継続的に行っている組織のうち、基準に適合するものを「環境共生まちづくり運営組織」として認証する制度です。

【対象】

環境共生の取組を行うタウンマネジメント組織や自治会組織 など

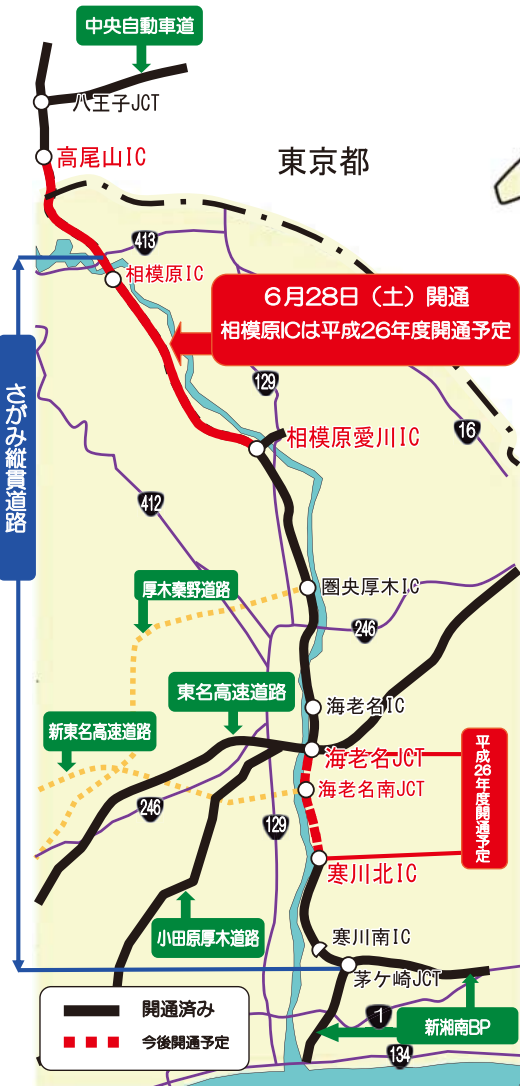


環境共生都市づくり事業
(認証マーク)



平成25年度認証 (第14号)
Fujisawaサステナブル・スマートタウン (イメージ)

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)相模原愛川IC~高尾山ICが開通しました



IC：インターチェンジ
JCT：ジャンクション
BP：バイパス

圏央道とは、首都圏3環状道路（中央環状線、外環道、圏央道）の1つで、都心から最も外側にあり、総延長約300kmのうち約195kmが開通しています。（平成26年6月現在）

県内の圏央道は、6月28日に相模原愛川ICから高尾山ICが新たに開通しました。

平成26年度には寒川北IC～海老名JCTも開通予定であり、この区間の開通により新湘南BPから各高速道路（東名、中央道、関越道）までが圏央道でつながり、今まで以上に県内から群馬・新潟方面へのアクセスが便利になります。

首都圏中央連絡自動車道(相模原愛川IC~高尾山IC) 開通式



(黒岩知事あいさつ)

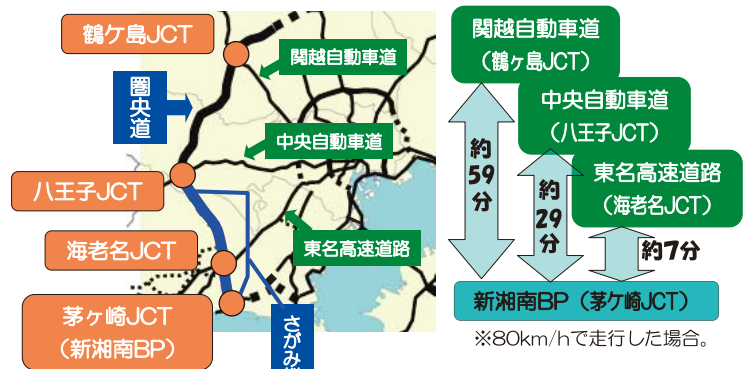


(通り初めの様子)

※神奈川県内の圏央道は、さがみ縦貫道路・横浜湘南道路・高速横浜環状南線で構成され、さがみ縦貫道路は平成26年度全線開通予定、横浜湘南道路・高速横浜環状南線は平成32年度（土地収用法等に基づく手続きによる用地の取得が速やかに終了した場合）開通予定とされています。

開通の効果は？

・各方面から湘南エリアまでの所要時間が大幅に短縮されます。



その他、

- ・災害時などに緊急活動に利用できるルートが増加します。
- ・物流への貢献が期待できます。
- ・都心を走る交通が圏央道に流れることで、都心の混雑が緩和されます。交通の分散により、道路への負担も軽減されます。
- ・レジャーのためのアクセスが向上します。

平成26年度総会を開催し、要望活動を実施しました

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、平成26年度総会を5月12日に開催し、事務局の神奈川県、ツインシティの地元である平塚市・寒川町から現在の取組状況についての報告や、市町の首長による活発な意見交換が行われ、平成26年度事業計画案・予算案、および総会決議について承認されました。

5月16日には、総会決議に基づき、県副知事、同盟会副会長市の藤沢市・厚木市、ツインシティの地元である平塚市・寒川町の首長等がJR東海を訪れ、新駅設置の要望活動を実施しました。

同盟会では今後も、新駅の設置実現に向けて積極的な要望活動を行い、精力的かつ着実に新駅誘致活動に取り組んでいきます。



(黒岩知事あいさつ)



(古沢神奈川県議会議長あいさつ)



(会場の様子)

総会とは？

同盟会会員10市町の首長や、県機関・関係機関の代表等が出席し、その年度の事業計画や予算について審議する会議の事です。平成9年度から毎年度実施しています。

同盟会会員が一同に集まる貴重な場であるとともに、その年度の同盟会の活動について決定するため、同盟会の1年のカギを握る大変重要な会議です。



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会は、平成8年の設立以来、寒川町倉見地区に東海道新幹線の新駅を誘致する活動に取り組んでいます。同盟会を構成する県市町の窓口は、次のとおりです。

県・市町担当窓口			厚木市	政策部企画政策課	046-223-1511 (代)
神奈川県	都市部環境共生都市課	045-210-6038 (直)	伊勢原市	都市部都市総務課	0463-94-4711 (代)
相模原市	まちづくり計画部交通政策課	042-754-1111 (代)	海老名市	まちづくり部駅周辺対策課	046-231-2111 (代)
平塚市	都市整備部都市整備課	0463-23-1111 (代)	座間市	都市部都市計画課	046-255-1111 (代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	0466-25-1111 (代)	綾瀬市	経営企画部政策経営課	0467-77-1111 (代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	0467-82-1111 (代)	寒川町	拠点づくり部倉見拠点づくり課	0467-74-1111 (代)

神奈川県 ■ 県土整備局 ■ 都市部 ■ 環境共生都市課

電話045-210-6038 FAX045-210-8879 E-mail(下記ホームページの「問合せ先」をクリックして「問合せフォーム」をご利用ください。)

期成同盟会ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p19860.html>
同盟会についてもっと詳しく知りたい方は、ホームページをご覧ください！

新幹線新駅同盟会

検索